

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう
- *賛美 …………… 韓日讃頌歌 396 番
- *交読文 …………… 46 番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 韓日讃頌歌 9 番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 韓日讃頌歌 382 番
- メッセージ …………… 祭司の担ぐ契約の箱を目指して(ヨシュア 3 章)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 韓日讃頌歌 399 番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 今週より、午前の2つの礼拝は、合同で一つとなります。
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が 70 名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(空欄にご自分の名前を入れて告白して下さい)

_____を形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしが _____を贖ったのだ。わたしは _____の名を呼んだ。_____はわたしのもの。_____が水の中を過ぎるときも、わたしは共におり、川を渡るときも、_____は押し流されない。火の中を歩いても、_____は焼かれず、炎は _____に燃えつかない。わたしが、_____の神、_____の救い主であるからだ。わたしは、世を _____の身代金とし、不信者を _____の代わりとする。わたしの目には、_____は高価で尊い。わたしは _____を愛している。だからわたしは人を _____の代わりにし、国民を _____のいのちの代わりにするのだ。 _____の主、イエス様の名前によって。アーメン！

ヨシュア達が約束の地に入っていく過程から私達が学ぶ事は、**信仰によって自己を降ろす事**である。「あなたたちは、**あなたたちの神、主の契約の箱をレビ人の祭司たちが担ぐのを見たなら、今いる所をたつて、その後に続け**。契約の箱との間には約二千アンマの距離をとり、それ以上近寄ってはならない。そうすれば、**これまで一度も通ったことのない道であるが、あなたたちの行くべき道は分かる**。」(ヨシュア 3:4)

今まで一度も通った事の無い道を進む際、慣れ親しんだ経験に頼れず、一步一步が信仰の歩みとなる。それまで昼は雲の柱、夜は火の柱が民を導いてたが、もはやそれらの導きではなく、ただ祭司たちが担ぐ契約の箱が、先だつて進んで行くのを目印にして、歩いていく事になる。この契約の箱とは、神様の契約のしるしであり、中に入っているのは、御言葉である。現代、私達が導かれていくべき目印となるのは、火や雲といったしるしではなく、**御言葉**であり、イエス様を通して与えられた**新しい契約は今、私達の心の板に書き記されている**。(エレミヤ 31:33) 信仰の歩みとは、信仰の創始者また完成者なるイエスから目を離さないで、このお方が先立って進む道を、私達もついて行く事である。主が「あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束した通り、あなたがたに与えている。」(ヨシュア 1:3) と約束しておられるのだから、恐れず、どこにでも足を踏み入れて行けば良いのだ。

そこでまず手始めに足を踏み入れるべき所は、ヨルダン川である。その時期は過越祭直前の3~4月、大麦が熟する時期の「ヨルダン川は刈り入れの間中、岸いっぱいにあふれ」(15節)、ヘルモン山からの雪解け水で、一年の中で水かさが増す時期だ。そんな冷たい水が溢れている川に入っていくのは危険極まりない、というのが人の考えだ。しかし、主は「入れ」と言う。ここに信仰が試される。別に敵が追ってくる訳でもないし、ヨルダン川のこちら側にも、そこそこの良い土地があるのに、なぜ、危険を冒してまで、私たちは向こう岸へ行かなくてはならないのだろうか？ 神様に召しだされた民には、神様が「行け」と言われた時、二つの道以外には無い。すなわち、祝福か、呪いか。行って祝福を勝ち取るか、それとも留まって荒野をさまつた末に屍を晒すか。信じ切れず恐れ退いて右往左往し、信仰の一步を踏み出せないでいるキリスト者ほど惨めな存在は無い。手を伸ばせばおいしいごちそうをいくらでも食べられるのに、億劫がって空腹のまま眺めているような者だ。

祭司が進んだのは、目の前の川の流れがせき止められたからではなく、川がまだたつぷりと水を湛えて流れている時だ。しかし、祭司達が足を進めて行き、足が水に浸ると、川は堰き止められたのだ。私達は様々な見込みを計算するが、御言葉の裏付けがあるなら、信じて進むのみである。そうすれば、主が川を堰き止め、障害の山は、主が海に移して下さるのである。信仰とは、川に何万個の土囊を投げ込んでも、山と海の間をスコップ持って何万往復するのでもない。からし種ほどの信仰があれば、それを握って進むだけ。あとは主が為して下さるのだ。

私もこの教会で牧会をする直前、水を湛えたヨルダン川を、一步一步進んでいるような感覚だった。すぐ足元は流れの強い水を湛えた川で、それでも勇気を絞って一步踏み出し、足を降ろした。足を降ろした場所は乾いて安全で、流れに足を取られたり溺れる事は無かった。その繰り返し。底の見えない深淵の向こうに足を踏み出すかのような恐怖を覚えた事もあったが、それでも守られる事を信じて一步踏み出す都度、そこは安全で、進めば進むほど祝福が増し加わった。結局私は、御言葉が途切れる事無く奉仕は守られ、野たれ死ぬ事無く必要も満たされ、今に至っている。ヨルダン渡河は、イスラエルの民が何十年前のあの時出来なかった、信仰のリベンジをするチャンスだ。皆さんが主からの召しにより、信仰によって進む道は、これまで一度も通ったことのない道かもしれない。しかし、進むうちに、行くべき道は主が示してくださる。今、信仰を持って一步を踏み出し、ヨルダンを渡る皆さんでありますように！

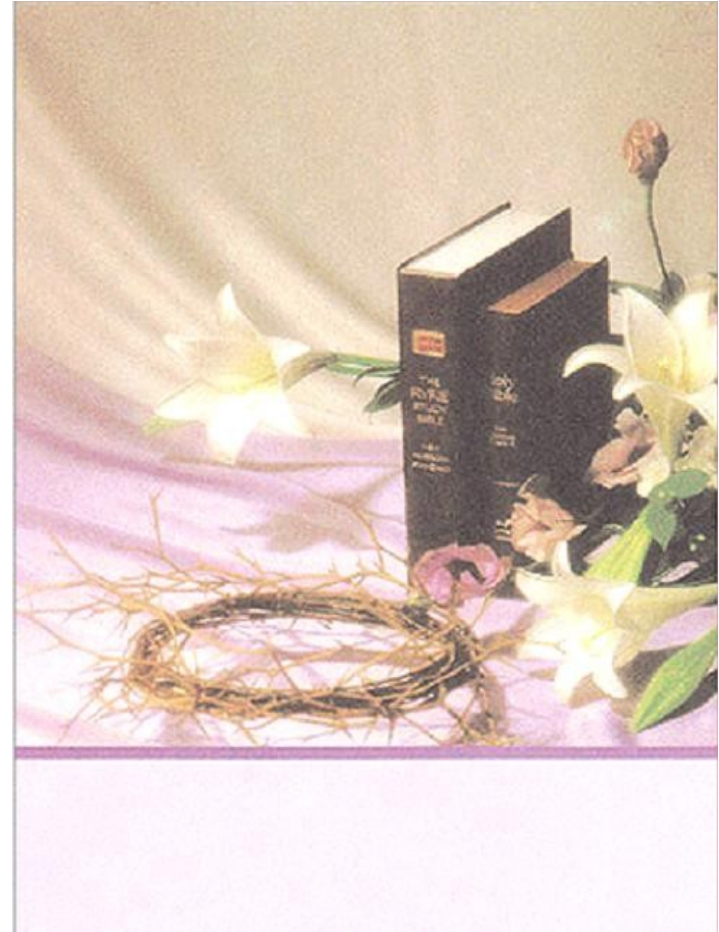
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻41号

2011年10月9日

横浜天声キリスト教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝
 1部礼拝 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝(韓国語通訳あり) 14:00
 聖書勉強会 15:00

日々の集会
 月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～
 水曜集会
 1部 13:00～
 2部 19:30～
 金曜徹夜祈祷会 21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番出口より徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト